

## 『修了証書』（4月1日配信）

こんにちは、戸田です。

今回は修了証書についてお話いたします。3月といえば、修了式ですね、どこの学校でもあるかと思います。私は、職場のろう学校で年中の5歳児クラスを担当しています。ペンギン組と呼ばれています。今日でみんなはペンギン組を終え、年長クラスのほかの動物になります。できることも増え、体の成長や手話でのお話もぐんぐん成長しました。本当によく頑張りました。今日、校長先生が来て、1人ひとり修了式をします。ペンギン組を修了することを子供たちに話しました。子供たちも理解し時間となり、幼稚部の子供たちが広い部屋に全員集まり校長先生も来て修了式が始まりました。3歳から5歳1人ひとりが前に出てきて校長先生から修了証書を受け取ります。ペンギン組の子供たちも嬉しそうに受け取ります。修了式終了後教室に戻ると、1人の子が修了証書を同じように紙に書き写しています。疑問に思い、修了証書は持ち帰れるから写す必要はないことを伝えました。それはわかっているようでしたが、手を止めず難しい漢字も見よう見まねで書き写します。なぜ同じものを作るのかわかりませんでした。すると先生の名前はどうか聞かれ、黒板にひらがなで『とだやすゆき』と書いて見せました。するとその子は、黒板を見ながらなにやら書いています。最後に紙全体にハートをちりばめていきます。なんだろうと思っていると、その子に呼ばれました。戸田先生もペンギン組修了と修了証書を突然渡されました。子供がもらうのはわかりますが、先生がもらえるのかと驚きました。そして今までにないことにとっても感動しました。子供から修了証書を初めてもらいました。涙がでるほど感動しました。写真に撮った物がこちらです。ハートがいっぱいですね。最後に私の名前が書かれています。一生懸命に書いてくれました。透明なフィルムに入れ、大切に保管しています。今までにない経験に本当に嬉しかったです。